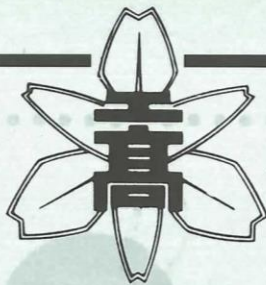


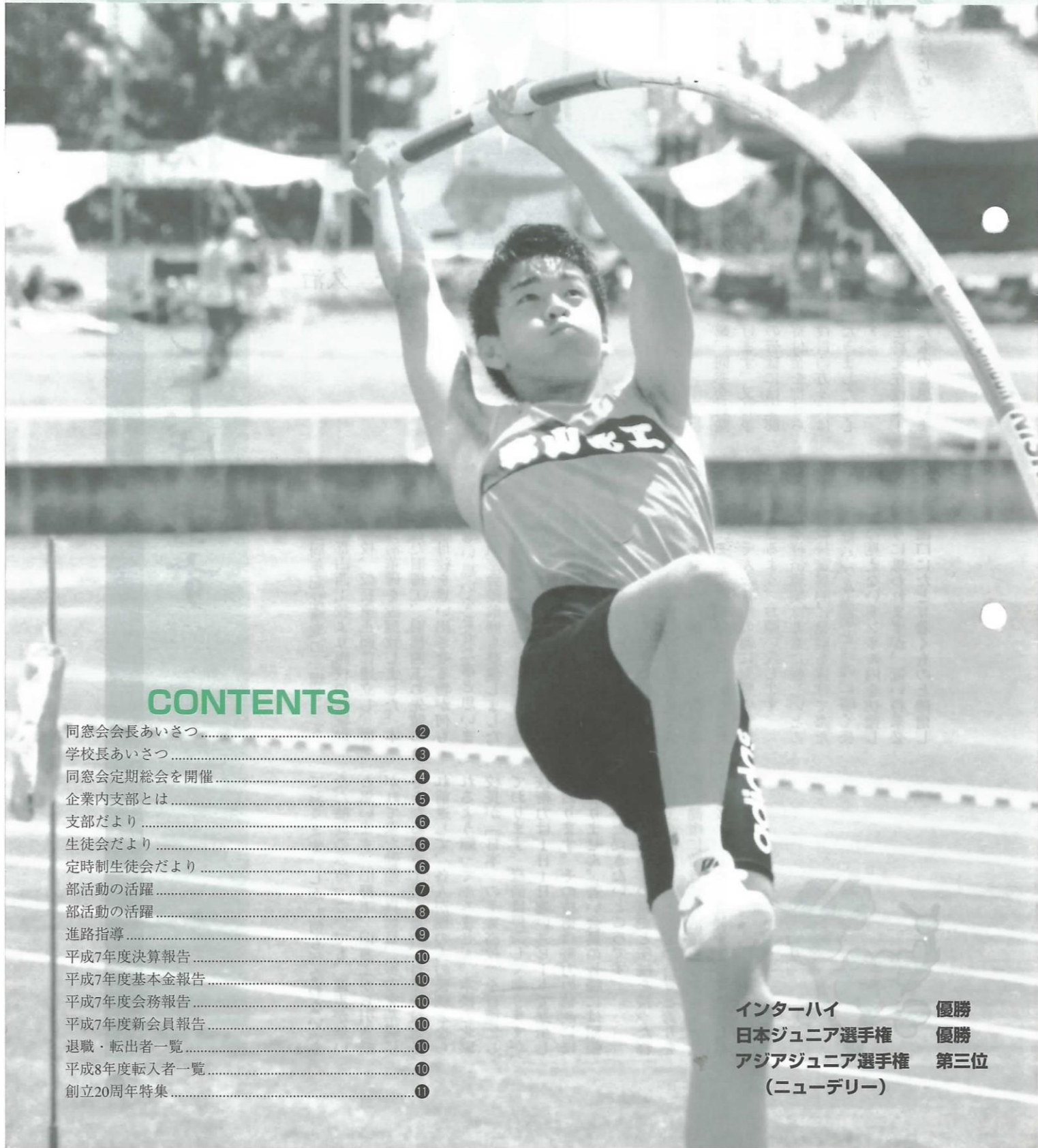
創立
20周年

同窓会報



福島県立郡山北工業高等学校

平成9年2月28日 第47号 発行所/〒963 福島県郡山市富久山町八山田字大林1 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
☎0249(32)1199 発行者/増子 久治 編集者/外山 茂 発行部数/13,000部 印刷/(株)ヨシダコーポレーション



CONTENTS

同窓会会長あいさつ.....	②
学校長あいさつ.....	③
同窓会定期総会を開催.....	④
企業内支部とは.....	⑤
支部だより.....	⑥
生徒会だより.....	⑥
定時制生徒会だより.....	⑥
部活動の活躍.....	⑦
部活動の活躍.....	⑧
進路指導.....	⑨
平成7年度決算報告.....	⑩
平成7年度基本金報告.....	⑩
平成7年度会務報告.....	⑩
平成7年度新会員報告.....	⑩
退職・転出者一覧.....	⑩
平成8年度転入者一覧.....	⑩
創立20周年特集.....	⑪

インターハイ 優勝
日本ジュニア選手権 優勝
アジアジュニア選手権 第三位
(ニューデリー)

一言、ご挨拶申し上げます



同窓会会長 増子 久治

郡山北工高同窓会会員の皆様にはご健勝にて活躍されている事とお喜び申し上げます。又、常日頃より母校、同窓会に対し多大なる、ご協力、ご支援をいただきまして誠に有難うございます。昨年は「郡山北工業高校」として誕生し20年経過し、その記念式典も10月26日無事終了することが出来ました。

協力いただきました各企業、同窓会員関係者各位に、御礼申し上げます。又特筆したいのは日立支部会員の皆様には支部として全会員の方より寄付金を寄せられたのをはじめ、多くの役員の方々には遠路式典に馳参じていただきました。心より深く感謝申し上げます。郡山北工も20才の成人式を終え在校生1人1人に自信が付いてきたものと思いま

す。又、20周年記念事業の一環として、旧郡工、旧郡山西工校より両校の校歌碑を移転し本校、校長室正面に建立し、併わせて両校沿革碑を設置致しました。本校へ来られた旧郡工、旧郡西工の先輩の皆様より、母校を思い出させる物が何も無いと寂しい思いをさせた事と思います。同時に同窓会館前庭も整備しましたので、来校時や近くまで来られた時は是非御覧いただきたいと思えます。新たに同窓会員となられた皆様には同窓会を代表し歓迎申し上げます。本同窓会の方々は10代の新会員から還暦を越された先輩会員もおられます。その様な中であって新会員、後輩会員の目から見て先輩会員の皆様にいかに頼もしく、敬愛の念を抱き、その姿は力強く目に映ることでしょう。そんな後輩の為に先輩の皆様、ご指導下さるよう、お願い致します。

今日の日本経済環境は非常に厳しいところです。戦後驚異的に発展を遂げて来た日本経済はバブル崩壊と同時に暗く長い、出口の見えないトンネル内を彷徨しているように思われますが、近い将来必ず明るい出口にたどり着くものと確信しております。しかし何も行なわないうで、ただ時間のみ待っていても、進歩が無いと思います。旧郡工、旧西工から引き継がれて来た勤勉、真面目、努力を基礎に、さらなる創意工夫を重ね、目標を設定され前進して、各人が他の人の模範となれるよう願ってやみません。本校の北原校長が「日本一の工業高校」を目標にしております。経済は停滞しておりますが、技術力は1日1日速いスピードで進歩しております。その技術は努力の結晶にほかなりません。若い会員の皆様には頑張ってくださいたいところです。終わりに50余年の歴史と伝統を持った郡山北工高同窓会員としての自覚と誇りを持ち健康に留意され活躍を祈念すると共に本校の限らない発展を願って挨拶と致します。



年頭の辞

校長 北原 正三



同窓会員の皆様方、明けましておめでとうございます。今年も新たな決意でスタートしました。本校も創立二十一年目を迎えました。先輩諸氏には日頃より母校発展のため、ご支援をいただきこの場をお借りし厚くお礼申し上げます。

まず第一にお知らせと感謝を申し上げます。創立二十周年記念事業と式典であります。その際には同窓会員各位、日立、水戸各支部の役員はじめ多くの方々のお参列いただきありがとうございます。記念事業の主なものとしては、一、校歌碑の移転、設置、二、同窓会館前庭の整備、三、同窓会員名簿発刊事業でありました。前日には小野田自然塾理事長というよりは戦後ルパン・小野田最後の帰還兵、小野田寛郎元少尉の講演「生きる」と題し本当に感銘深く聴きました。「私は戦場での三十年、生きるの意味を真剣に考えた、戦前人々には命を惜しむなと教えられ、死を覚悟して生きた。戦後、日本人は「命を惜しまなければいけない。」時代になった。何かを命がけでやることを否定してしまつた。だが死を意識しないことで、日本人は生きることをおろそかにしてはいないだろうか。小野田氏の著書「たった一人の三十年戦争」に書かれている精神的強靱さと、日本魂は現在の若者に継承していく義務があります。

同窓会員の皆様方、明けましておめでとうございます。今年も新たな決意でスタートしました。本校も創立二十一年目を迎えました。先輩諸氏には日頃より母校発展のため、ご支援をいただきこの場をお借りし厚くお礼申し上げます。

各方面から賞賛されました。当日めづらしく七名の歴代校長先生が参列して式をもり上げていただきました。郡工五代大原享氏、六代斉藤重千代氏、西工三代根本虎雄氏、郡北工初代佐久間俊忍氏、二代賀川力氏、六代佐藤正与氏、七代堀金敏幸氏、その他旧職員の面々と楽しいひとときを持つことができました。

さて、本校は「めざせ日本一の工業高校」を合言葉に教職員、生徒は一体となつて努力しています。質実剛健を旨とし、調和ある、創造力に富んだ、特色ある工業技術の育成にあります。全日制七学科学年10クラス合計30クラス生徒数一一七八名定時制工業科4クラス100名が在籍しています。

最近の傾向としては、より高度な技術を求めて大学進学希望者が増加しています。現在進学内定者37名、最終的には40名以上になるものと予想されます。一方就職状況も好調でして一流企業からも求人があつてうれしい悲鳴をあげています。これも先輩各位の実績が評価されたものだと感謝しています。部活動ではソフトボール、陸上競技、スケート、レスリング等が全国大会で活躍し、特に今年のインターハイでは棒高飛びで日本一になりました。サッカー、バレーボールも県大会で準優勝しました。将棋県大会優勝、野口英世賞受賞(第一位)吹奏楽、マーチング演奏も大活躍しています。

教職員一同は心新たに日本一の工業高校をめざしてがんばります。

● 定時制だより ●

光り輝く生徒たち

定時制教頭 鈴木就吉

午後六時から定時制の授業が開始されます。仕事場から息を切らせて駆け込んでくる生徒。夜食を慌ただしくとっている生徒。昼間の仕事の疲れから目をこすりながら眠気を耐えている生徒。好きな教科に目を輝かせて積極的に質問をしている生徒。放課後体育館でいっぱい汗を流してすっきりした顔で帰る生徒。課題研究で遅くまで熱心に研究している生徒……。

四年間の長丁場にもめげず、毎日学校にくる生徒たちにエールを送りたい。どの生徒も光り輝く本校定時制のすばらしい姿なのです。多くの新一年生が仲間入りをし、学校が賑やかになってきました。一人ひとりが先輩の後ろ姿を見習って、最後まで目標に向かってやり遂げてもらいたいと思います。ぜひ、この生徒たちに側面から先輩同窓生の温かいご支援をお願いするところです。

今年各種の資格に挑戦し、よい成果を出しています。特に難関の第二種電気工事士に二名合格しました。生徒たちと先生方の二人三脚の賜物と自負しています。先生方も生徒たちに「ひとつでも社会で役立つものを」とやる気十分の姿勢で日夜頑張っております。それからOBでPTA役員の大内菊夫さん、三年間ご尽力を頂いています。本校定時制が益々発展するためにも同窓会のご援助をお願いする所です。

平成8年度 同窓会 定期総会を 開催！



平成八年度 福島県立郡山北工業高校同窓会総会



平成8年度の同窓会定期総会は、平成8年6月15日（土）午後6時から郡山市虎丸町のホテルはまつに於いて開催され、来賓、会員約200名が出席致しました。

増子会長のあいさつのあと、北原正

三校長先生よりあいさつをいただきました。また、東京・日立・水戸支部を代表して、小野寺昭東京支部長よりあいさつをいただきました。議長選出、書記任命の後議事に入り、平成七年度庶務報告として会務報告・新会員報

告・新職員報告、平成七年度決算報告・会計監査報告、平成八年度事業計画並びに予算についてなどの議案が承認されました。

その他の議事に入り、今年度は北工創立20周年にあたり、創立20周年記念事業協力金として、基本金からの100万円の特別支出が承認されました。

総会終了後、懇親会が行われました。横溝博PTA会長・同窓会相談役植田英一氏（県議）のあいさつをいただき、榎本岩雄教頭先生の発声で乾杯致しました。

来賓企業の方々や旧職員・恩師を囲んだ祝宴は、時の経つのを忘れさせ、なごり尽きないまま盛会のうちに閉会いたしました。



企業内支部（企業名）

現在38社（順不同）

東陽工業（株）
八光建設（株）
石橋工業（株）
林精器製造（株）
（株）ザイン
曙ブレーキ工業（株）三春製造所
（株）蔭山工務店
（株）池上シャーリング
（株）エディソン
テレコム機器（株）
（株）ニノテック
パラマウント硝子工業（株）
東北エコン建鉄（株）
日本化学工業（株）福島工場第一工場
（株）キョウエイ
東北建設機械販売（株）
（株）内藤工業所
東北武田化成（株）
田村通信防災工業（株）
陰山建設（株）
（株）ヨシダコーポレーション
福島プレジジョン（株）須賀川工場
横河エレクトロニクス（株）郡山工場
信越石英（株）郡山工場
郡山ヒロセ電機（株）
（株）今川
（株）金門コルツ郡山工場
コマツ福島（株）
（株）東北エンタープライズ
（株）ヤマキ電気郡山事業所
白沢建設（株）
（株）山王郡山工場
（株）龍森 郡山工場
（株）朝日ラバー 福島工場
福島日野自動車（株）
（株）ホテルはまつ
（株）テクノスタッフ
日新電設（株）

企業内支部 とは

平成3年4月に同窓生の多い企業内に
設立されました。

活動内容

- 1、企業内支部情報誌の発行
- 2、連絡協議会及び懇親会の開催
- 3、母校への支援

企業内支部情報誌とは

会員企業はもとより、3学年生徒・父
兄全員と学校の先生方に配布され、就職
活動の一助になることを発刊の主なる目
的としています。



生徒会だより

生徒会顧問 二瓶益幸

創立二十周年を迎えた今年度の生徒会活動状況について、記録を辿りながら総括してみたいと思います。

四月、四百名の新入生を迎え、今年度がスタートしました。五・六月の高校総体予選では参加部が全て県大会に駒を進め、サッカー、バレーが準優勝で、水泳と共に東北大会出場、ソフトボールが四連覇、陸上・棒高跳で菅野卓弥君が県新で三連覇、レスリング115kg級で六戸哲治君が初Vで、それぞれ全国大会出場を果たし、さらに八月の全国大会では、棒高跳の菅野君が悲願の全国制覇を成し遂げました。菅野君はインドで開催されたアジアジュニア選手権にも出場し、堂々三位に入賞しました。



七月、校内体育大会が晴天の中三日間行われ、各種目共熱戦が続き、クラスの団結と親睦が図られました。夏の高校野球県大会で



部哲也君(建2年)以下、十六名の新役員が選出されました。新役員の今後の活躍を期待します。

創立二十周年記念式典、除幕式、記念講演が多数の来賓のもと、盛大に挙行され、北工生としての自覚と決意を新たに誓い合いました。十一月、校内ミニ文化祭が二日間開催され、初の試みである水ロケット大会や学芸コンクール等、どの催しも盛況でした。

定時制生徒会だより

生徒会顧問 佐藤 文英

同窓会の先輩各位には、日頃から多大なる御援助を賜り、深く感謝申し上げます。

定時制、この言葉の中には一言では表現できない多くのものを含んでいるように思います。働きながら、夜四年間通学するのは基より、生徒一人一人が個々に悩みを抱えながら、ある時は泣き、ある時は喜び、おのおのが、それぞれの目的のために努力を続けているのを見ると、本当にすごいと思います。

そんな中でも、彼らもやはり高校生なんだと感じさせられることもあります。写真は遠足の時のスナップですが、これを見るとどこにでもある高校生と同じ姿を見ることができると思います。

在学中は授業を始めとして、資格取得、検定、各種大会と、日々忙しい彼らも、いつかきっと母校郡山北工を懐かしく思い出すことと思います。

そんな彼らに、今後とも大いなるご支援を同窓生諸氏にお願い申し上げます。



は、学福に惜敗し、今年も甲子園の夢は実現できませんでした。

十月、役員選挙で、新会長の阿

合優勝し、全国大会出場を果たしました。

今年度も北工生の活躍が目立ち、来年度のさらなる飛躍を祈念したいと思います。



支部だより

支部総会開催

日立支部では、恒例の支部総会を、平成8年6月7日(金)に開催いたしました。本総会には、学校側より榎本教頭、増子同窓会会長、熊田事務局員の3名が参加しました。

七海支部会長はじめ、支部役員そして会員多数の出席のもと盛大に行われました。今年、新たに会員となられた柳田・門馬両名を迎え、和やかな懇親会となりました。懇談の中でも、学校創立20周年ことが話題となり、時の経つのも忘れて懇談いたしました。

郡山北工同窓会 平成8年度日立支部総会



部 活 動 の 活 躍

水泳部

第42回県高等学校体育大会			
男子個人	100M自由形	小川雄一	第8位
	100Mバタフライ	佐藤智昭	第3位
	400Mメドレーリレー	小川・阿部・佐藤・小野寺	第8位
東北高等学校体育大会			
男子個人	100M自由形	小川雄一	出場
	100Mバタフライ	佐藤智昭	出場
	400Mメドレーリレー	小川・阿部・佐藤・小野寺	出場
県総合体育大会			
男子個人	100Mバタフライ	佐藤智昭	第6位
	200Mバタフライ	佐藤智昭	第4位
県高等学校新人体育大会			
男子個人	400M個人メドレー	小川雄一	第3位

バドミントン部

第49回県総合体育大会			
男子ダブルス		近藤・久納 橋本・橋本	ベスト16 2回戦進出
男子シングルス		伊藤・加藤 近藤健一 橋本英彦 橋本洋・久納充 加藤一彦・橋本博昭・穴澤良大 石井誠太郎・品田広志・伊藤貴広	出場 ベスト16 3回戦進出 2回戦進出 出場
県高等学校新人体育大会バドミントン競技大会			
男子学校対抗			第3位
男子ダブルス		近藤・橋本	ベスト8
		久納・品田 穴澤・角田	3回戦進出 3回戦進出
男子シングルス		近藤健一・橋本英彦	ベスト8
		穴澤良大 久納充	4回戦進出 出場
全国高等学校選抜バドミントン選手権大会東北地区予選会			
男子学校対抗			2回戦進出

卓球部

第42回県高等学校体育大会			
学校対抗			出場
シングルス		上達野・松本・渡辺(敦)・大竹	3回戦進出
ダブルス		小野・増子	2回戦進出
県総合体育大会			
学校対抗			2回戦進出
シングルス		大竹 他9名	ベスト32 出場
全日本卓球選手権県大会			
シングルス		増子 大類	ベスト16 ベスト32
ダブルス		増子・渡辺・松本・古川	2回戦進出
第35回県高等学校新人体育大会			
学校対抗			第3位
シングルス			6組出場
ダブルス			3組出場

弓道部

第42回県高等学校体育大会			
男子団体			出場
男子個人		大河浩史 西澤周一	準決勝進出 出場
女子個人		笠間友紀恵 面川弥雪	準決勝進出 出場
第34回県高等学校新人体育大会			
女子団体			出場
男子団体			ベスト8
女子個人			出場
男子個人			出場
第15回全国高等学校選抜弓道県大会			
男子団体			第6位

ソフトテニス部

第42回県高等学校体育大会			
男子団体			第3位

全日制

野球部

第48回春季東北地区高校野球県大会	出場
第78回全国高校野球選手権福島大会	出場
第29回郡山市長旗争奪高校野球大会	第3位

バレーボール部

第42回県高等学校体育大会	準優勝
第32回NHK杯東北高等学校バレー選手権大会	出場
県総合体育大会	準優勝
県高等学校新人体育大会	第3位
第28回全国高等学校バレー選抜大会県予選	第3位

サッカー部

第42回県高等学校体育大会	準優勝
県総合体育大会	準優勝
東北高等学校サッカー選手権大会	第3位
全国高等学校サッカー選手権大会一次予選	二次予選進出
全国高等学校サッカー選手権大会二次予選	ベスト4
県高等学校新人体育大会	ベスト8

ハンドボール部

第42回県高等学校体育大会	ベスト8
第49回県総合体育大会	ベスト8
第34回県高等学校新人ハンドボール選手権大会	出場

ソフトボール部

第42回県高等学校体育大会	優勝
第22回東北高等学校男子選手権大会	準優勝
県総合体育大会	優勝
県高等学校新人体育大会	出場

柔道部

第42回県高等学校体育大会	男子団体	出場
---------------	------	----

バスケットボール部

第49回県総合体育大会	ベスト16
-------------	-------

陸上部

第42回県高等学校体育大会	フィールド総合	第6位
男子個人	棒高跳び	菅野卓弥 優勝
		(県新記録、県高新、大会新)
	やり投げ	関森幹夫 第3位
	5000M競歩	菅野起世 第4位
	1年3000M	佐久間薫 準優勝
東北高等学校陸上競技大会		
男子個人	5000M競歩	菅野起世 第5位
	棒高跳び	菅野卓弥 優勝(大会新)
県総合体育大会	棒高跳び	菅野卓弥 優勝
	5000M競歩	菅野起世 第4位
第23回東北総合体育大会		
	棒高跳び	菅野卓弥 優勝
	5000M競歩	菅野起世 第8位
国民体育大会	棒高跳び	菅野卓弥 準優勝
県高等学校新人体育大会	やり投げ	関森幹夫 出場
		(東北高等学校新人陸上に出場)
第1回東北秋季選抜選手権大会		
	やり投げ	関森幹夫 出場
全国高校総合体育大会		
	棒高跳び	菅野卓弥 優勝
日本ジュニア陸上選手権大会		
	棒高跳び	菅野卓弥 優勝
アジアジュニア陸上選手権大会		
	棒高跳び	菅野卓弥 第3位

剣道部

第42回県高等学校体育大会	男子団体	第4位
第42回県高等学校体育大会	男子団体	出場
第33回県高等学校新人体育大会	男子団体	出場

ラグビー部

県総合体育大会	Bブロック	第3位
県高等学校体育大会		ベスト8
県高等学校新人体育大会	Bブロック	第2位

次頁へ続く

部 活 動 の 活 躍

		吉田 満	第8位 (県高新)
	5000m	吉田 満	第7位
女子	500m	菅野寿子	第6位
		穂積梨香	第8位
	1000m	菅野寿子	第5位
		穂積梨香	第6位
第46回全国高等学校選手権大会			
男子	1000m	大内智則	第19位
	5000m	吉田 満	第23位
第52回国民体育大会冬季大会			
男子	500m	本田浩史	準決勝進出
	1000m	大内智則	準決勝進出
		本田浩史	準決勝進出
	1500m	大内智則	準決勝進出
		小林 稔	出場
	5000m	小林 稔、吉田 満	出場
	10000m	三浦 努	第10位
		吉田 満	出場
	2000mリレー	本田・菅野	
		小林・大内	出場
女子	500m	菅野寿子、穂積梨香	出場
	1000m	菅野寿子、穂積梨香	出場
平成8年度福島県高等学校新人体育大会			
男子	500m	本田浩史	第1位
	1000m	本田浩史	第1位
	1500m	菅野清将	第1位
	3000m	三浦 努	第1位
		菅野清将	第2位
学校対抗 男子			第1位
女子	500m	穂積梨香	第1位
	1500m	穂積梨香	第1位
学校対抗 女子			第1位

囲碁・将棋部

第5回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	増子雅俊	出場
---------------------	------	----

吹奏楽部

県吹奏楽コンクール	銅賞
県マーチングフェスティバル	東北大会推薦
東北マーチングフェスティバル	優秀賞

工業科

第3回県高等学校ロボット競技大会			
	機械科「大五郎の父」	ベスト16	
	電子科「セクシアメリカンドリームス」	出場	
全日本ロボット相撲東北大会			
ラジコン型	高校の部	機械科「新選組」	4回戦進出
		機械科「門どの助」	2回戦進出
	一般の部	機械科「新選組」	2回戦進出
		機械科「門どの助」	3回戦進出

定時制

ソフトテニス

第33回福島県高等学校定時制・通信制体育大会			
団体			優勝 (全国大会出場)
個人	鈴木・熊田		優勝 (全国大会出場)
	村上・田中		準優勝 (全国大会出場)
	柳田・佐藤		第3位 (全国大会出場)
	伊東・武田		第4位 (全国大会出場)

バレーボール

第33回福島県高等学校定時制・通信制体育大会	準優勝
------------------------	-----

柔道

第33回福島県高等学校定時制・通信制体育大会			
個人	軽量級	大原佑介	優勝 (全国大会出場)
	中量級	大内 博	第3位 (全国大会出場)
	重量級	矢吹 勇	第3位 (全国大会出場)
		富塚一也	(全国大会出場)

男子個人	石村・白石	ベスト8
第42回県高等学校総合体育大会		
男子個人	石村・白石	ベスト8
	佐久間・大島、荒和田・寺尾	ベスト16
	古川・寺山	ベスト32
女子個人		
県総合体育大会		
男子個人	石村・白石、佐久間・大島	ベスト16
県高等学校新人体育大会		
男子個人	佐久間・大島	第3位
	石村・白石	ベスト32
	坂本・村上、古川・寺山	出場
女子個人		
第26回県高等学校インドアソフトテニス選手権大会		
男子団体		準優勝
男子個人	石村・白石	第3位
第28回東北高等学校インドアソフトテニス選手権大会		
男子個人	石村・白石	出場

レスリング競技

第42回福島県高等学校体育大会			
重量級	穴戸哲治		優勝 (全国大会出場)
全国高等学校体育大会			出場
県総合体育大会			
重量級	穴戸哲治		優勝
国民体育大会			
重量級	穴戸哲治		出場

スピードスケート愛好会

県高等学校体育大会			
学校対抗 男子			優勝
女子			優勝
少年男子 500m	本田浩史		優勝 (大会新)
	菅野清将		準優勝
	本田浩史		優勝 (大会タイ)
	菅野清将		準優勝
	大内智則		第3位
	大内智則		優勝
	小林 稔		準優勝
	菅野洋平		第3位
	小林 稔		優勝
	吉田 満		準優勝
	菅野洋平		第3位
	吉田 満		優勝
	三浦 努		準優勝
少年女子 500m	菅野寿子		優勝
1000m	菅野寿子		優勝
	穂積梨香		準優勝
第49回県総合体育大会			
少年男子 500m	本田浩史		優勝 (大会新)
	菅野清将		準優勝
	大内智則		優勝 (大会新)
	本田浩史		準優勝
	菅野清将		第3位
	大内智則		優勝
	小林 稔		準優勝
	小林 稔		優勝 (大会新)
	三浦 努		準優勝 (大会新)
	吉田 満		第3位 (大会新)
	吉田 満		優勝
	三浦 努		準優勝
少年女子 500m	菅野寿子		優勝
	穂積梨香		準優勝
	菅野寿子		優勝
	穂積梨香		準優勝
第8回東北高等学校選手権大会			
学校対抗 男子			第4位
男子	500m	本田浩史	第2位 (県高新)
		菅野清将	第5位
	1000m	大内智則	第6位
		本田浩史	第7位
	1500m	大内智則	第4位
		小林 稔	第8位
	3000m	小林 稔	第4位 (県高新)

進路指導

本校の進路状況

進路指導主事 高久田 稔

1、本年度の特徴

- (1) 県内就職者（県内留保率）が開校以来、初めて70%を超えました。
- (2) 大学合格者の数が30名に近づきました。
- (3) 女子の就職内定率が男子を超え、ほとんどの女子が一度で合格しました。
- (4) サービス、販売関係へ就職する人数が増えて来ました。

社会情勢を反映してか、「工業高校イコール就職」

「就職イコール製造業」と云った式は成り立たなくなって来ました。それだけ生徒の進路も多様化している事になり、進路指導のあり方も、生徒自身の進路選択も曲り角に差し掛かっているようです。（表1・表2）

2、進路希望状況

昨年度の卒業生と在校生の進路希望状況を見ると

- (1) 就職、進学の割合は「7・3」ぐらいになり
- (2) 就職の場合も、県内、県外の割合が「7・3」。
- (3) 進学は、大学、専門学校の割合は「4・6」になっています。

今までは年々この割合が変化していましたが、どうやらこの辺りで落ち着いて来たようです。自分の将来の進路についてはっきりした考えを持って入学する生徒が増えつつあるようです。

3、環境システム科の進路希望状況

機械科の1クラスを転科して作られた環境システム科が平成9年度に初の卒業生を出すことになります。県内で唯一の学科であり、進路指導の実績がありませんので他の科以上に同窓生の皆さん方のお世話になる事が多いかと思えます。特段のご指導、ご協力をお願いします。環境システム科の生徒の進路希望状況は（表3）の通りです。

表1 平成7年度 進路内定状況 7.12.24現在 () は女子内数

科	機械	電気	電子	情報	建築	化工	合計	
在籍数	116	79	40(2)	37(19)	39(12)	77(45)	388(78)	
就職内定数	県内	48	32	20(2)	19(10)	16(5)	26(16)	161(33)
	県外	11	17	5	9(5)	6	12(3)	60(8)
	公務員	4	2	0	0	1	2	9
	自営/離散	2/2	1/2	0/0	0/0	1/2	0/3	4/9
計	67	54	25(2)	28(15)	26(5)	43(19)	243(41)	
進学者数	大学	3	5	2	2	5(1)	3(2)	20(3)
	短大					2(2)	1(1)	3(3)
	専門	21	6	9	2(2)	3(3)	3(2)	44(7)
	計	24	11	11	4(2)	10(6)	7(5)	67(13)
就職希望者	9	8	0	3(1)	0	24(19)	44(20)	
進学希望者	15	6	4	2(1)	3(1)	3(2)	33(4)	
合計	115	79	40(2)	37(19)	39(12)	77(45)	387(78)	

休学1

休学1

表2 平成8年度 進路内定状況 8.12.24現在 () は女子内数

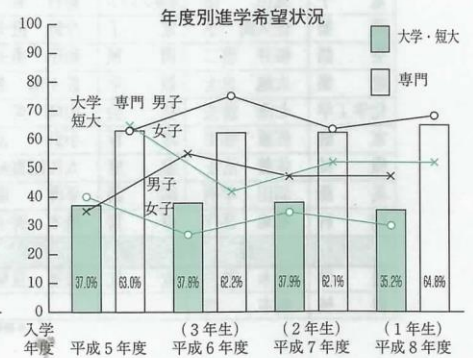
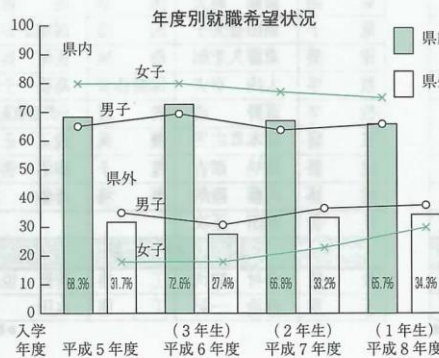
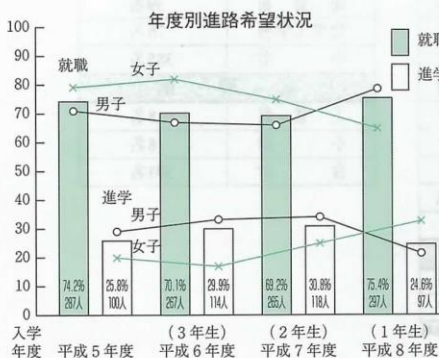
科	機械	電気	電子	情報	建築	化工	合計	
在籍数	115	73	38(5)	39(8)	40(11)	76(27)	381(51)	
就職内定数	県内	43	37	16(3)	13(3)	12(5)	38(17)	159(29)
	県外	9	14	6	2(1)	5	11(4)	47(5)
	公務員	8	1	1	2	0	1	13
	自営/離散	1/2	1/2	1/0	0/0	2/6(2)	2/1	7/11(2)
計	63	55	24(3)	17(5)	25(7)	53(21)	237(36)	
進学者数	大学	4	7	6	2(1)	7(3)	2	28(4)
	短大	1	0	1(1)	0	2	0	4(1)
	専門	23	4	2	8(1)	4	6	47(2)
	計	28	11	9(1)	10(2)	13(3)	8(1)	79(7)
就職希望者	8	4	2(1)	7(2)	2(1)	7(3)	30(6)	
進学希望者	16	3	3	5	0	8(2)	35(2)	
合計	115	73	38(5)	39(8)	40(11)	76(27)	381(51)	

表3 平成8年度 環境システム科 進路希望調査集計表

平成8年10月16日 現在
福島県立郡山北工業高等学校 進路指導部



科	進学																	就職										実施数		
	在籍	大学				専門			技術			県内	県外	建築	製造	電気	運輸	卸売	サービス	公務	その他	技術	事務	販売	サービス	保安	運輸		技能	その他
		短大	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種	各種																			
環境(男子)	36	0	2	1	17	17	6	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	11	3	3	3	3	3	36
1年(女子)	4	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	3	
合計	40	0	2	1	19	18	6	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	11	11	4	4	4	4	4	39	
環境(男子)	35	3	3	1	25	5	5	5	1	0	7	7	3	2	5	3	7	5	3	2	5	3	7	5	3	0	5	2	35	
2年(女子)	5	2	0	0	1	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	5	
合計	40	5	1	1	26	7	6	5	1	0	7	9	3	2	5	3	8	7	3	0	5	3	0	5	2	2	2	40		



平成7年度 基本金報告

1. 収入の部

項目	金額	備考
繰越金	5,894,328円	
本年度基本金	470,000円	793人 (-5,800)
雑収入	43,010円	分配金、利息
合計	6,407,338円	

2. 支出の部 0円

3. 残高 6,407,338円

- ・ 中国ファンド 6,354,757円 (野村証券)
- ・ 定期預金 52,581円 (大東銀行)

平成7年度 決算報告

- 1 収支総額 3,954,847円
- 2 支出総額 3,532,432円
- 3 差引残高 422,415円

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	831,209	831,209	0	
会費	1,185,000	1,179,000	△ 6,000	(385+8)×3000
入会金	1,230,000	1,224,000	△ 6,000	(400+8)×3000
会誌広告料	340,000	297,013	△ 42,987	広告掲載料 (16社)
北窓会助成金	300,000	300,000	0	北窓会からの助成金
雑収入	28,791	123,625	94,834	名簿、利息、総会残金
合計	3,915,000	3,954,847	39,847	

2. 支出の部

項目	7年度予算額	決算額	増△減	備考
基本金	483,000	470,000	△ 13,000	793×3000×0.2-5800
会議費	300,000	110,926	△ 189,074	三役会、幹事会など
事務費	50,000	41,316	△ 8,684	ゼロテープなど
慶弔費	300,000	299,300	△ 700	餞別、賞品、香典など
通信費	950,000	907,505	△ 42,495	会報送料、葉書、切手
旅費	150,000	140,890	△ 9,110	日立・東京・水戸支部
会誌編集費	600,000	626,500	26,500	会誌印刷など
渉外費	150,000	45,930	△ 104,070	関係機関との渉外諸費
卒業生諸費	350,000	300,065	△ 49,935	卒業記念品、名簿印刷
事務局費	160,000	160,000	0	事務局
工業祭	100,000	100,000	0	北嶺祭
支部助成金	200,000	230,000	30,000	日立・東京・水戸支部
学校案内助成	100,000	100,000	0	学校案内印刷
予備費	22,000	0	△ 22,000	
合計	3,915,000	3,532,432	△ 382,568	

※差引残高 422,415円は次年度へ繰り越します。

平成7年度 会務報告

月日	行事名	内容等	場所
H7.4.10	(入学式)		学校
13	会報発送		
28	会計監査		学校
5.9	幹事会	平成7年度総会の件	ホテルマア
13	三役会		ホテルマア
6.1	情報誌発刊	企業内支部情報誌	
3	平成7年度定期総会		ホテルマア
8	日立支部総会	増子会長他2名	日立
16	東京支部総会	増子会長他2名	上野
7.14	水戸支部総会	増子会長他2名	水戸
11.24	三役会	20周年記念事業	学校
12.20	会報編集会議		学校
H8.2.1	三役会	20周年記念事業	学校
2.27	同窓会報発行		学校
29	同窓会入会式 (全・定)		学校
3.1	第19回卒業式		学校

平成8年度 転入者一覧

全日制			
教科	氏名	教科等	氏名
電気	池添 祥史	養護	田中 幸子
建築	矢吹 二良	国語	角田いづる
保健体育	石井 洋一	国語	中隅 利恵
数学	本田 浩	電子	大河原勇一
電子	滝田 浩	環境システム	新村 善一
建築	佐久間 亨	電子	今野 澄夫
英語	桜井 啓二	機械	和田 勇夫
建築	大越 忠士	数学	佐々木 孝
化学工学	七海 清夫	社会	山崎 尚一
家庭	佐藤 弥生	理科	小針 治
機械	佐藤 浩正	家庭	大和田真紀
英語	羽田 孝明	国語	平澤 隆
理科	菊地 喜作	事務	橋本 秀子
定時制			
数学	鈴木 就吉	電気	服部 良男
機械	橋本 浩		

※敬称略

人事異動に伴う退職・転出者一覧

全日制			
教科等	氏名	教科等	氏名
英語	佐久間陽一	社会	佐藤 国喜
電気	阿部 文英	化学工学	兼田 信男
数学	佐々木 孝	電子	佐々木英雄
理科	小針 治	機械	千葉 公一
英語	斎藤 範夫	国語	渡 毅郎
電子	須田登美子	国語	高城かおり
建築	斎藤久志郎	機械	長尾 真宏
数学	大内 幸吉	保健体育	高橋 千昭
数学	菅野 浩	養護	小野里麻紀子
家庭	鈴木真由美	機械	渡辺 正一
建築	馬場 彦吉	電子	柳沼 善久
建築	内藤 陸明	事務	斎藤 誠
社会	熊田 正次		
定時制			
教頭	今村 昭司	工業	菅野 悦雄
工業	丹治 一記	工業	水田 守

※敬称略

平成7年度新会員報告

全日制	
科	人数
機械科	114名
電気科	79名
電子科	40名
情報技術科	37名
建築科	39名
化学工学科	76名
小計	385名
定時制	
工業科	8名
小計	8名
合計	393名

創立20周年特集

募金目標達成の御礼



増子同窓会長を実行委員長とする「創立20周年記念事業実行委員会」の会議が、平成9年1月下旬に行われました。その中で、中間決算報告が行われ一千百三十三万五千円（募金目標額一千万円以上）の募金が寄せられたという報告がありました。

ご賛同頂きました各企業・各卒業生の皆様誠に、ありがとうございます。改めて、厚く御礼申し上げます。

校歌碑移設なる

同窓会長年の願いが、ついに実現しました。

旧郡工・旧西工の校歌碑が本校正面入口の南側に、移設されました。平成8年10月25日（金）新しい沿革碑と共に、除幕式が行われました。本校の30周年へ向けての、新たなスタートです。



同窓会員名簿発刊なる

創立20周年記念事業の一つとして、取り組んできました。

幾度かにわたるハガキ調査等により、卒業生の皆様の所在が明らかになり、判明率も90%に近いものとなりました。ご協力ありがとうございました。

また、封書等で情報を提供された皆様、ありがとうございます。3月上旬購入者へ発送致します。なお、若干名簿の在庫がありません。事務局までお問い合わせください。

同窓会館前庭も整備される

同窓会館前の庭園に植栽を行い、美しい整備致しました。いこいの場になるよう願う次第です。



営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備・
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎(0249)45-2882(代) FAX(0249)46-2875

●カーコンサルタント

株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭和34年度機械科卒)

本社〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3 ☎(0249)45-1623(代)
車検センター 郡山市安積二丁目184-1 ☎(0249)45-8300
成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(0249)45-2478

TEP

株式会社 東北エンタープライズ

取締役社長 先崎 一郎 (昭和31年度機械科卒)

本社 ●福島県郡山市開成4-8-15 TEL(0249)33-2555(代) FAX(0249)23-2555
仙台支店 ●仙台市青葉区宮町4-2-2 (K'Sハウス2F) TEL(022)265-8333(代)FAX(022)265-6395
■空調設備、給排水衛生設備の設計・施工および保守管理

精密金型設計製作・金属プレス精密加工・静電塗装・植毛・シルク印刷
部品組立・木工製品製造・パーツから組立完成までの一貫加工メーカー

AT 石橋工業株式会社

代表取締役会長 石橋 隆純
代表取締役社長 石橋 邦勝 (昭和33年度機械科卒)
取締役管理総務部長 桑名 武義 (昭和35年度機械科卒)

郡山市安積町成田字三渡1 TEL (0249) 45-3411 FAX (0249) 45-0176
関連事業 (株) エー・シー・ディーコーポレーション TEL (0249) 47-3690
よもぎ堂 <離れ 石橋亭、松籟亭、四季亭> TEL (0249) 84-2671

<確かな技術が未来を築く>

火力発電プラント・各種プラント設計製作

東陽工業株式会社

取締役社長 大塚 正博 (昭和30年度機械科卒)
取締役 落合 弘 (昭和32年度機械科卒)

本社工場 〒969-11 安達郡本宮町青田字花掛20
TEL0243(34)2730(代) FAX0243(33)3790
白沢工場 〒969-12 安達郡白沢村和田字諏訪10
TEL0243(44)4307 FAX0243(44)4308

弱電部品製造・精密金型製造・販売
株式会社 ザイン

代表取締役 鈴木 廣 哉 (昭和40年度機械科卒)

〒963 福島県郡山市富久山町福原字宝田46番 1
TEL (0249) 34-0699
FAX (0249) 22-7403

本格中国料理

龍宮城

代表取締役社長 橋本 正喜
(昭和42年度機械科卒)

本店/郡山市安積4丁目38 TEL (0249) 46-3171
白河店/TEL (0248) 24-2800

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

我がコンテンツデザインに
不可能はない。

デジタル・デザインの応用分野は、
印刷以外にも生かれます。
例えば、インターネットのホームページ制作や
CD-ROM制作を通して、マルチメディア社会の、
あらゆる媒体制作プロダクションとして
活躍したいと考えます。



通信販売先始めました
手造りみそ
ヨシダの

印刷機材総合販売・デジタル製版・マルチメディア関連事業
株式会社ヨシダコーポレーション
YOSHIDA ■本社/〒963-07 郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL 0249 (42) 0005 FAX 0249 (42) 2233

URL http://www.media-yoshida.co.jp/yc

通信販売のご注文・お問い合わせは
社名 株式会社ヨシダ
製造工場 福島県白河郡泉崎村
大字家崎字寺前
販売営業所 福島県郡山市田村町
上行合字北川田22-1
TEL 0249(42)1101
FAX 0249(42)2233

～同窓会定期総会開催のお知らせ～

平成9年度定期総会を下記のように開催いたします。
多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

1. 日時 6月7日(土) 午後6時半より
2. 場所 ホテルはまつ (郡山市虎丸町)
TEL (0249) 35-1111
3. 会費 5,000円 (平成8年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

同窓会事務局 (郡山北工内) TEL (0249) 32-1199